

お知らせ

2024年5月1日
株式会社コロワイド

ダイニングエール、横浜銀行本店食堂にて

「JFS 規格(フードサービス)セクター:G」認証の取得を完了

～横浜市内の事業所として初。食品衛生管理の強化で更なる顧客満足向上めざす～

株式会社コロワイド（代表取締役社長：野尻公平、証券コード:7616）は、傘下でグループの給食事業を担う株式会社ダイニングエール（本社：横浜市西区、代表取締役社長：渡邊裕介）が受託運営している株式会社横浜銀行本店食堂において、一般財団法人食品安全マネジメント協会（JFSM）が開発・運営する食品安全マネジメント規格「JFS 規格（フードサービス）セクター：G」（以下、JFS フードサービス規格という）の適合証明（＝認証）を4月1日付けで取得したことをお知らせいたします。横浜市内の事業所における同認証の取得は初めてのこととなります。



（株式会社横浜銀行 本店食堂）



（JFSM 規格登録マーク）

JFS 規格は、食品産業における食品安全の共通基盤を構築することを目指し、JFSM が開発した食品の安全管理の取組みを認証する規格です。この内「JFS フードサービス規格」は、外食・中食・給食施設・ケータリングなどの飲食を提供するフードサービス事業者を対象として追加されました。

「JFS フードサービス規格」は、フードサービス事業者向けにメニュー調理時における、「受入」、「保管・保持」、「下処理」、「加熱・再加熱」、「冷却」、「盛り付け・提供」などの各工程において、管理すべき危害要因とその管理方法を衛生管理手法である HACCP（ハサップ）*に組み込んでいることなどが特徴となっており、2019年の制定以降、このたびの認定は全国で40件目の事例となります。

コロワイドグループは2023年に制定した「COLOWIDE Vision 2030 新中期経営計画」において、今後のマーケット拡大が見込まれる「給食事業」での成長を掲げ、2030年3月期における給食事業の売上収益目標を1,000億円としております。

ダイニングエールではこのたびの認証取得を機に、既存の給食受託事業所はもとより、今後、新規で受託する事業所、病院、介護施設等においても、食品衛生管理の強化を図る上での体制構築を進め、引き続きお客さまの信頼に応えていく考えです。

コロワイドグループは、企業理念である「すべては、お客さまと社員のために」の考えのもと、食のインフラの担い手として、社会の持続可能な発展への貢献と中長期的な企業価値の向上を目指し、取り組むべき重要課題（=マテリアリティ）のひとつとして「食の安全・安心の提供」を特定しており、本件もこうした取り組みの一環となるものです。

ダイニングエールのホームページ <https://www.dining-yell.co.jp/>
コロワイドのサステナビリティ <https://www.colowide.co.jp/sustainability/>

*HACCP（ハサップ）

HACCPとは、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法です。（出典 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/haccp/index.html）

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社コロワイド サステナビリティ推進室
電話：045-274-5994／E-mail：sasutena@colowide.co.jp

